

三郷市議会議員 文教経済常任委員長

あいざわ 圭一郎 けいいちろう

地域だよりの

Vol.18 H.26.01.01

38歳 走り続ける情熱男!

新春のお慶びを申し上げます

●2014年の新春を迎え市民皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年は、自身2度目の市議選でありましたが、皆様方の温かいご支援をいただき再選を果たすことが出来ました。多くのご負託を受けたことを心に刻み、三郷市の未来を見据え誠心誠意励んで参ります。

●市議会では12月議会が行われ、15議案及び1請願が上程されました。中でも「行政組織条例の一部改正」等、今後の市政運営を注視していかなければならない案件もございました。市民サービスの向上に繋がる一方で、行政改革に逆行しているのでは?という意見もあり、喧々諤々と議論を致した次第です。本件に関しては私自身、賛成票を投じさせていただきましたが、意見を申し添えたいという希望もあり、賛成討論をさせていただきました(後述)。

●国会では「特定秘密保護法案」が可決されましたが、国民の中でも賛否両論分かれております。一連の流れを見ると、私自身、自由民主党所属の一地方議員ではありますが、各党別合意部分については、もう少し慎重審議が必要であったのでは?と考える次第です。しかしながら、国家の安定・発展なくして個人のそれもあり得ません。近年、アジア諸外国との諸問題が取り沙汰されておりますが、国益と国民の生活を考え毅然として解決に向け努力されたいものです。

平成25年12月定例会の主な概要(抜粋)

●議案第69号 町の区域を新たに画することについて
三郷インター南部地区土地区画整理事業による整備に伴い、換地処分公告があった日の翌日から町名変更がされます。

※現在施工中の区画整理事業完了後になります。

三郷市 インター南一丁目 インター南二丁目

原案可決 賛成全員

●議案第70号 三郷市行政組織条例の一部改正

既存の福祉部を→福祉部及び子ども未来部に

既存の環境経済部を→環境安全部及び産業振興部に

合計2部8課室の増となります。

原案可決 賛成多数

●議案第78号 農業委員会の委員に関する定数条例の一部改正

市内の農地面積減少に伴い、三郷市農業委員会の選挙による委員の定数を15人から14人に改める。

※これにより、農業委員会委員は公選14名、議会推薦3名、農業協同組合等団体推薦3名の合計20名となります。

原案可決 賛成全員

●議案第79号 一般会計補正予算

・子ども医療費支給事業 3,000万円

・病児・病後児保育事業 670万円

(来年度より三郷中央駅前しらゆり保育園にて開始予定)

・斎場別館建替え事業 2,200万円

・都市公園整備事業 250万円

(早稲田公園内北側公衆トイレ建替え)

・北分署建替え事業 3,000万円

・小学校運営管理事業 1,470万円

(戸ヶ崎、彦成、吹上、桜、幸房、前谷、彦郷、丹後、瑞木の9小学校に対する雨漏り修繕)

・中学校運営管理事業 860万円

(南、北、瑞穂の3中学校に対する雨漏り修繕)

・市立図書館・郷土資料館移転新築事業 2,800万円

(植栽、駐車場、ガーデンライト等の整備)

原案可決 賛成多数

逢澤圭一郎と地域をよくする会

<http://www.aizawa-k16.com>

office@aizawa-k16.com

341-0018 三郷市早稲田2-10-7 Tel 957-8462 Fax 957-8465
 会長 竹本裕司 副会長 稲垣栄 谷古宇 勇 幹事長 濱口 稔 副幹事長 佐藤行義 事務局長 宮田米穂 顧問 井上貞夫
 世話人 吉岡貞義(代表) 葉室和男 高濱國治 齋藤博之 杉橋重一 松川文雄 西山忠雄 白石政則 吉岡良男
 逢澤圭一郎と地域をよくする会(後援会)にご入会ください!年会費等は一切かかりません。

「行政組織条例の一部改正」に対する賛成討論をしました

討論内容

●条例改正の趣旨

新たな行政課題や多様な市民ニーズに対応し、行政組織の改善を図るため改正案が上程されました。

●どの様な形態になるのか

主に福祉部から子ども未来部を切り離し、新たに創出すること、環境経済部を産業振興部と環境安全部に分離し、安全推進課を環境安全部に移行するという、トータル2部8課室を新設するものです。

●超高齢社会と言われる中で…

現実に即した高齢者福祉の充実を図っていかねばなりません。三郷市においても12月1日現在、高齢化率22.72%、3万人強の方が65歳以上とされており、豊かな経験を持つ高齢者の方々に、頑張る日本人としてご指導いただくためにも、健やかに活動出来るよう健康増進をはじめとした諸施策を推進していく必要があります。



●障がい者福祉の更なる充実

バリアフリーをより促進し、障害を持っていても健常者と同様に、当たり前で生活できるような社会を構築するノーマライゼーション的取り組みを推進する必要があります。



●子育て支援

少子化が進む一方、多様化する保育ニーズに応え、27年度から始まる予定の子ども子育て新制度に円滑に対応出来るよう準備をしていただくこと。また、増加傾向にある発達障害に対する支援など、乳児期、幼児期、児童期の教育・保育について教育委員会とも連携を取りながら進めていく必要があります。

●安心安全

地震や台風・豪雨・竜巻など自然災害が頻発する中で、危機管理体制の強化など、喫緊に進めていかねばならない課題が山積しております。



●行政の効率化という観点から考えると

厳しい財政状況が推移される中、簡素化してスリムな行政運営が求められる現状で、2部新設というのは逆行しているという意見も否定できないものであります。

●財政面については

昇格人事の場合、副部長職から部長職で給料等影響額は年額約65万円、課長補佐職から課長職で影響額は年額約60万円、2部8課室で600万円を超える場合も想定できるということです。

●縦割りの弊害

セクションが増えることにより、担当する職務に関して、他の部署との関係が希薄となり、組織全体の利益・効率性が低下するということが挙げられます。

●産業振興部について

単独部署としてどのように成果を出していくのか、今議会でも、農地面積減少等の理由により農業委員会委員の削減が上程されておりますが、今まで以上の都市農業振興策を進めていけるのか。また、昨今の経済情勢の中で地元商工業の活性化は必要不可欠なことでありますが、こちらもまた、斬新な施策を打ち出せるのか。結果が求められるものでございます。



●結論として

機構改革で新たな部を創設することは、経費の増大、組織の肥大化というマイナスの側面がある一方で、様々な諸問題に的確に対応するためと理解しております。

市民から行政を見る目は厳しいものであります。是非とも今回の機構改革がより良いものとなるよう、今まで以上に各課の連携を密にいただき、それぞれの部署で結果を出すこと、また、13万5千三郷市民からご理解が得られるよう取り組んでいただくことを申し添え賛成討論と致します。